

さけ・ます漁業振興事業調査 一抄録一

三戸 芳典・※柳谷 智・田村 亘・※※早川 豊
十三 邦昭・上原子次男・藤田 修央

(※：水産物加工研究所、※※：現在水産増殖センター)

発 表 誌 名

平成元年度さけ・ます漁業振興事業調査報告書（青森県）

抄 録

1. さけ稚魚標識放流調査

津軽海峡におけるさけ稚魚の放流適期を解明するため、大畑川支流から標識魚を放流しこれを追跡調査した。

これまでの調査結果から、尾叉長4.5cmで放流する場合の放流適期は3月上旬から4月中旬で、その時期の沿岸水温は5.5から8℃になる。また、早い時期の放流では8から9程度の肥満度の稚魚を放流することが必要と思われた。

2. 年齢組成調査

沿岸回帰したさけ親魚の年齢組成の分析を行い、回帰生態を明らかにすることを目的とした。

昭和59年度からの階上、白糠、大戸瀬漁協の調査結果を見ると、近年議論されている小型・高齢化の傾向は認められなかった。

3. 成熟度調査

沿岸に回帰したさけ稚魚の成熟度について、地域別、時期別に調査し地域毎の特性を把握することを目的とした。

昭和59年度から調査している階上、白糠、大戸瀬漁協では、年々ギン毛の構成比が低下している。また、階上、白糠漁協では成熟が進むにつれ1粒当りの卵重と卵径が増える傾向にあった。肉色は色差計で肉の彩度を測定したが、外観的成熟度から肉色を明確に区別することはできなかった。